

努力賞 (子どもの部)

「かぞくからのおくりもの」

荒川区立第三峡田小学校一年

冨田 雅実

やなぎだせんせい、こんにちは。

わたしは「わすれられないおくりもの」をよみました。このおはなしは、しんでしまったアナグマさんが、みんなにいろいろなことをおしえてあげたおはなしです。

わたしは、アナグマさんが、きつねにネクタイのおすびかたをおしえているところがおきにいらいです。なぜかというと、きつねがネクタイをおはなにまいているからです。でも、アナグマさんにおしえ

てもらって、じょうずになりました。アナグマさんは、おしえるのがじょうずだなおもいました。

ほかに、アナグマさんは、みんなにいろいろなことをおしえてあげました。わたしのおとうさんとおかあさんが、わたしのまわりにいるアナグマさんです。いろいろなことをおしえてくれるので、おとうさんとおかあさんがアナグマさんみたいなのです。

たとえば、おかあさんはわたしにクッキーのつくりかたをおしえてくれました。きじをたいらにしてかたをぬいて、おかおのもようのかたはゆるくやるとじょうずにできるとおしえてくれました。おとうさんは、おすしやさんではたらいていて、おすしのにぎりかたをおしえてくれました。わさびのいれかたもおしえてくれました。おかあさん

とおとうさんは、ものしりで、すごいなとおもいました。

わたしは、このほんをよみおわったとき、アナグマさんやわたしのおかあさんやおとうさんみたいにもものしりで、しんせつなひとになりたいなとおもいました。そうなれたら、みんなにいろいろおしえてあげたいです。